



191の国や機関などから王族、元首や首脳級の代表らも参列する中、執り行われました。

即位礼正殿の儀

10月22日午後1時。雲が割れ、光が皇居に差し込む中、天皇陛下の御即位を国の内外に宣明する『即位礼正殿の儀』が行われました。

陛下のみが着用できると伝わるハゼノキとスオウという植物を使って染められる色『黄櫨(こうろ)』を用いた『黄櫨染御袍(こうろぜんのごほう)』をお召になり、「立纓(りゅうえい)の御冠(おんかんむり)」を被り、京都御所紫宸殿より運ばれた高御座に昇られ行われました。

皇后陛下は、十二単を召され、御帳台(みちようだい)に昇られました。

初詣は氏神さまから

崇敬会会員の昇殿参拝

令和2年1月3日

午前10時30分(第1回)
午前11時30分(第2回)

崇敬会会員とその家族にかぎり、昇殿参拝の式をおこないます。神社から御神酒と特別な祈禱「一陽来復御守」の神札が授与されます。

新春記帳所を設けますので、ご記帳のうえ、御供物もお受け取りください。なお、1月の「誕生祭」の方は第1回にご参拝ください。

境内には、甘酒進上の席も用意いたします。ご家族そろって多数ご参拝ください。

七草流 鰯馬祭

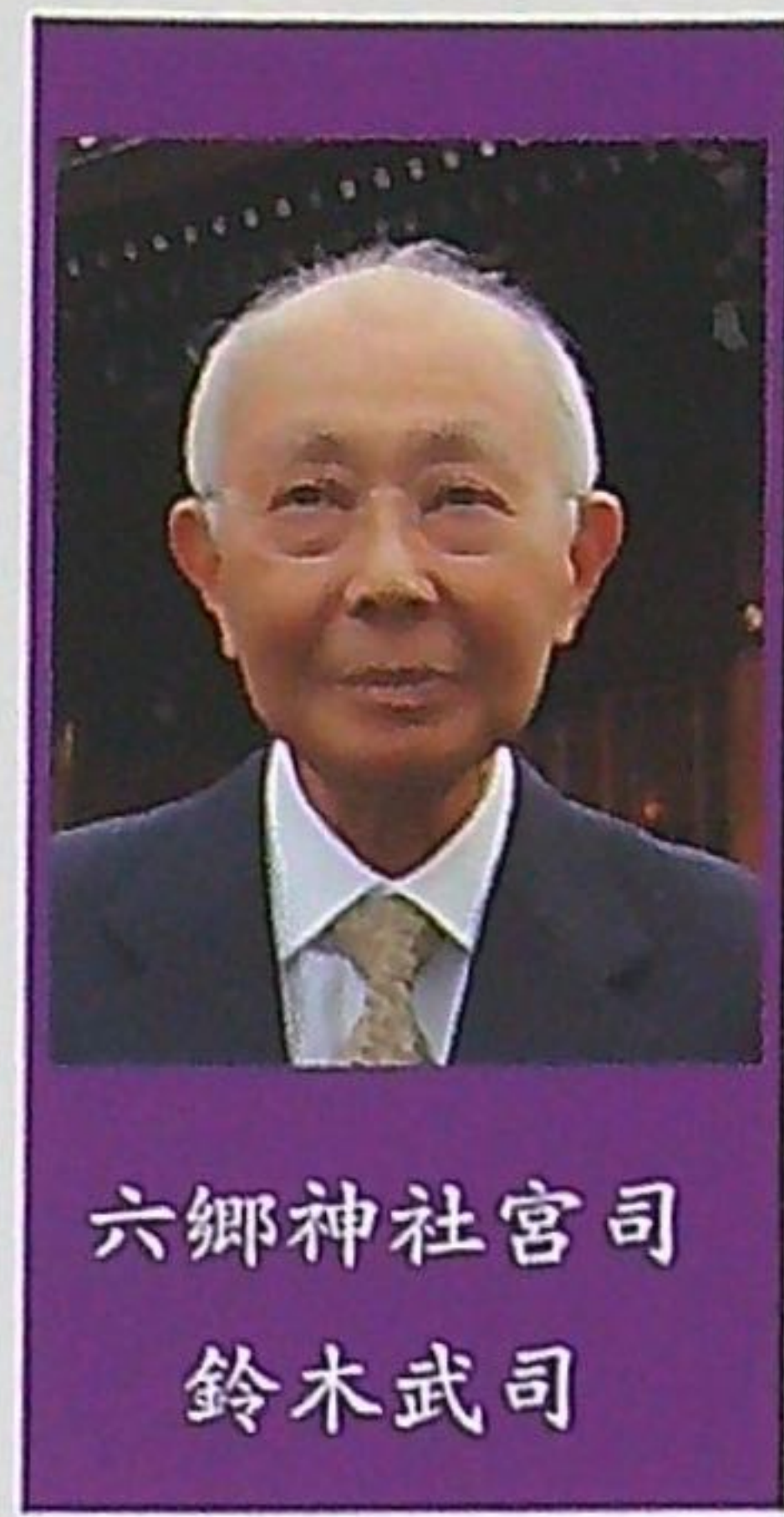
やぶさめ

鎌倉時代から伝わる七草流鰯馬祭では、厳粛な式典後、射場に進んだ小笠原流の流鰯馬装束に身を包んだ男児の成長・開運・出世を祈願します。昭和38年、東京都の無形民俗文化財(民俗芸能)に指定されています。

1月7日に行います。



六郷神社崇敬会30周年での挨拶



地域連帯の中心的役割

六郷神社崇敬会が、増渕会長様を始め、会員各位の崇敬の念と、多大なご尽力のもと、令和の御代の幕開けとなる輝かしい慶年に、創立30周年を迎えられたことは、大変喜ばしく思います。

平成元年11月3日の発足から今日まで、会員の皆様には神社を中心とした地域社会の発展に貢献頂き、また様々な祭事・行事を通して会員相互の親睦を図り、ともに人々の幸せと地域の繁栄を願ってくださっています。

現代の社会においては、個人主義的な考え方が主流となり、地域のつながりが希薄になりつつあります。そのような中、日本文化の栄えある輝

かしい伝統を守り、より良い社会と美しい国づくりに寄与し続けている本会の活動は、今後益々重要な役割を担って行かれる事と確信いたします。このような時代だからこそ、地域連帯の中心となり、地域社会の絆を深めることがより一層求められていくことになると思います。

30年間の皆様の活動に対しては、心より厚く感謝申し上げます次第です。今後もより一層のお力添えを賜りますことをお願い申し上げますと共に皆様方のご繁栄ご隆昌を祈念いたし、ここに挨拶申し上げます。



三代目会長としての重責

六郷神社崇敬会30年の節目にあり、一言ご挨拶申し上げます。会員の皆様と共にこの30周年の記念の日を迎え、心から嬉しく思います。

この30年、崇敬会が数多くの諸行事を恙なく実行し、大過なく進めて来られたことは偏に、会員皆様の、物心両面に涉るご支援の賜物と改めて深く心から感謝と御礼を申し上げます。また、本会の平成元年の結成に深くかかわった多くの先輩諸兄姉様と、初代会長・森田賢治様、二代目会長・喜多絹子様には、心から『アリガトウゴザイマシタ』と申し上げ、感謝の念を捧げたいと存じます。

そして、30年と申せば『人生三十年にして立つ』と、所謂『而立(じりつ)』という論語の言葉が頭に浮かびます。正直に言えば、学生時代は真面目に学びませんでした。この而立は、不思議と心に残っております。生を享けて30年の年月を重ねて、ようやく世間に認められ、何事も自分で決断して事を処理することが出来る一人前になるということですが……。六郷神社崇敬会は、幸いにして立派な先輩方のお蔭で、この30年を迎えるずっと前から、よくまとまっており、押しも押されぬ団体と

認められてきております。これも多くの会員の皆様が真摯な気持ちで、神を崇拝する毎日の行動の積み重ねにより実を結んだわけで、誠に御同慶の至りです。

永い日本の歴史上、最も平和であったのは徳川幕府の265年であったといわれております。その基礎を築いたのは三代目将軍・徳川家光公と称され、まさに三代目が何より重要だと学生時代に学んだ記憶がございます。

前会長よりこの職を引き継いだ私が、この崇敬会の三代目にあたるわけですが、その任は、浅学非才な者にとつて大変重責でございます。しかしながら、多くの立派な先輩の方々や会員皆様のお力添えをいただき乍ら、少しでも前進できるよう努めて参ります故、何卒、折に触れて皆様のパワーの一端をお与えいただければ無上の光栄でございます。

最後に、会員皆様のご健勝ならびに、御家族のますますの弥栄を祈念して挨拶と致します。

六郷神社崇敬会 30年のあゆみ

	会長	正式参拝	
平成 元 年 11 月 3 日	森田賢治		設立総会
12 月 20 日			会報第1号発行
2 年 1 月 3 日			新春昇殿参拝(恒例となる)
2 月 1 日			ついたち早朝まいり(恒例となる)
5 月 25 日			大型テレビを社務所に寄進
10 月 9～11日		石清水八幡宮	
11 月 3 日			献木式・添え釜(恒例となる)
12 月 2 日		武蔵野御陵参拝	皇居東御苑の大嘗宮拝観
3 年 8 月 3 日			羽田の屋形船に乗り、往時の曳舟祭をしのぶ会
10 月 6～7日		三峯神社・秩父神社参拝	
4 年 5 月 30 日			脇参道入口に六郷神社由緒掲示板奉納
9 月 10～12日		宇佐神宮参拝旅行	
9 月 27 日			六郷河原野草観察会
5 年			第61回式年遷宮
3 月 20 日			六郷ばやし復活の練習開始
9 月 18 日			江戸東京博物館・ガスの科学館のバス見学会
6 年 1 月 22～24日		伊勢の神宮初詣	明治村見学の旅
11 月 9 日			江戸東京たてもの園のバス見学会
11 月 27 日			六郷川野鳥観察会
7 年 7 月 23 日			新社務所竣工祭・祝賀披露宴
11 月 3 日			終戦50周年六郷地区戦没殉難者慰霊祭 (遺族会共催)
8 年 5 月 5 日			大師駅前の木村和治郎氏による六郷ばやしの出張教授はじまる。
9 年 11 月 3 日			文化の日さわやかパーティー開催
11 月 28 日			六郷神社獅子舞の護持育成に努めてきた代田秀雄・足利幸吉両氏に社団法人日本善行会から表彰状と善行賞が贈られる。
10 年 1 月 22 日			産業プラザでの六郷地区新年顔合わせ会で六郷ばやしを演奏
10 月 8 日		筑波山神社参拝	伊能忠敬旧宅・記念館見学の日帰りバス旅行
11 年 11 月 3 日			創立10周年記念献木式および祝賀会
12 年 5 月 20 日		一之宮貫前神社・妙義神社 中之嶽神社参拝	
			春の叙勲で梅澤喜代造氏 勲五等双光旭日章受章
13 年 12 月 1 日		寒川神社参拝	
14 年 2 月 8 日			こども獅子舞と六郷ばやしが都教育委員会から表彰される。
12 月 7 日		金鑽神社参拝	
15 年 11 月			11月会員の誕生祭・身体健全祈願を斎行
16 年 6 月 19 日			総会懇親会で後藤利夫画伯の「似顔絵」実演
17 年 1 月 29 日		大宮氷川神社参拝	

18 年 1 月 21 日		富士山本宮浅間神社参拝	
4 月 23 日			六郷神社氏子青年会創立30周年記念総会・祝賀会
19 年 6 月 3～10日			六郷神社鎮座950年大祭
10 月 28～29日		竹駒神社・大崎八幡宮 塩釜神社参拝	
20 年 6 月 21 日	喜多絹子		秋の叙勲で森田賢治氏旭日重光章受章
21 年 2 月 24 日		三嶋大社正式参拝	沼津御用邸訪問
11 月 3 日			創立20周年記念祭・祝賀会・献木『山紅葉』植樹
22 年 2 月 20 日		明治神宮正式参拝	日枝神社・富岡八幡宮参拝
11 月 3 日			創立記念大祭 献木『日本橘』植樹
23 年 2 月 19 日		大國魂神社正式参拝	大宮八幡宮参拝・深大寺・サントリー一見学
6 月 25 日	増渕國昭		
8 月 27 日			六郷幼稚園園舎改築落成式典・創立記念45周年祝賀会
11 月 3 日			創立記念大祭 献木『ゆずりは』植樹
24 年 2 月 25 日		武田神社正式参拝	宝物館見学
6 月 10 日			六郷神社祭礼 ご神幸祭 壱之神輿と列次で渡御
11 月 3 日			創立記念大祭 献木『きばな藤』植樹
25 年			第62回式年遷宮
2 月 16 日		静岡浅間神社正式参拝	大覚寺千手大観音拝観
8 月 10～12日			伊勢の神宮 お白石持行事奉献参拝
11 月 3 日			創立記念大祭 献木『素心蠟梅』植樹
26 年 1 月 25 日		神田明神正式参拝	湯島天神・江戸東京博物館にて大浮世絵展見学
11 月 3 日			創立記念大祭 献木『百日紅』植樹
27 年 2 月 7 日		鹿島神宮正式参拝	香取神宮・息栖神社・伊能忠敬旧宅見学
11 月 3 日			創立記念大祭 献木『常盤山法師』『灰の木』植樹
28 年 2 月 27 日		寒川神社正式参拝	二宮尊徳・比々多神社参拝
11 月 3 日			創立記念大祭 献木『紅千鳥』植樹
29 年 2 月 25 日		氷川神社正式参拝	川越氷川神社・小江戸川越・蔵造り散策
11 月 3 日			創立記念大祭 献木『利休梅』植樹
30 年 2 月 24 日		三嶋大社正式参拝	箱根神社参拝
11 月 3 日			創立記念大祭 献木『あんず』植樹
31 年 2 月 23 日		諏訪大社正式参拝	
4 月 30 日			明仁陛下 退位礼正殿の儀
令和 元年 5 月 1 日			徳仁陛下 剣璽等継承の儀
10 月 22 日			徳仁陛下 即位礼正殿の儀
11 月 3 日			創立記念30周年大祭・祝賀会 献木『菊桃』植樹

崇敬会創立30周年大祭

11月3日(日)に、崇敬会の大祭が催されました。ご神徳を奉戴し、会員家族のご隆昌をお祈りするため、毎年開催しています。今年は、平成元年に創立し、30周年を祝う記念行事として、盛大に執り行われました。大祭ではまず、神前において、献茶を執り行いました。

昇殿参拝の後、献木式が行われ、「菊桃」を奉献し、鎮守の森がより緑豊かになることを願いながら、記念の植樹をさせていただきました。

また境内において、裏千家・東京第四西支部のみなさまのご奉仕により、立礼形式の野点にて、薄茶がふるまわれました。秋山光明氏が席主となり、結界を作る扇子の意味や茶道文化などお話しいただきました。



鈴木宮司によるご挨拶



30周年オリジナルのご朱印



感謝状授与



六郷ばやしでお出迎え



祝舞・坂東栄三輔先生

◆有名神社バスの旅

恒例の神社正式参拝・日帰りバス旅行は、来春2月22日(土)明治神宮の正式参拝を中心に、都内の神社をまわるコースを予定しております。身近な神社さんへの参拝ですが、一般参拝とは違った形の参拝に参加しませんか？

詳細は新春記帳所にてご案内申し上げますが、先着40名様ですので、奮ってご参加ください。

◆崇敬会入会のおすすめ

神社の興隆を通し、地域文化を向上する目的を持った会でございます。国際化が進みます地域文化を理解することの価値が高まっています。是非、お知り合いの方に入会をおすすめください。

◆新入会員紹介

東六一・川田 知希
南六一・久保蘭 史子
南六三・猪狩 武司

ご祭礼執り行われる

6月9日(日)に祭礼が執り行われました。新元号になつてはじめての神輿渡御でした。陛下の御即位を奉祝する幟旗が式之神輿を先導する形で、氏子町会全域を巡行しました。



神と人が一体になる渡御は地域の各家々に御神徳を与えて下さると言われております。

また、子供神獅子舞(大田区無形民俗文化財)も、一ヶ月近い夕方の練習を続け、神楽殿で演舞を無事に奉納しました。



神楽殿での奉納舞



東南地域での舞披露

◆会計報告の改訂

平成31年度 収支予算(案)

収入の部

前期繰越金

117,216 ⇒ 127,216

合計

1,417,216 ⇒ 1,427,216

支出の部

予備費

29,216 ⇒ 39,216

合計

1,417,216 ⇒ 1,427,216

謹賀新年

崇敬会法人会員の皆様

有限会社 中村電機商会

ラバーツリーハウス 株式会社

城南信用金庫 六郷支店

株式会社 植春造園

関西ペイント株式会社 東京事業所

都南工業給食協同組合

株式会社 増渕製作所

芝信用金庫 雑色支店

株式会社 城南

株式会社 常盤軒フーズ

有限会社 一色印刷所

有限会社 永和

株式会社 ベビータイム

医療法人 古部クリニク

株式会社 丸半

他7社

◆ついたち早朝まいり

毎月ついたち朝7時に、神前にて会員みなさまの家内安全を祈願する昇殿参拝と、会員有志による講話をしております。

また、会員の方の誕生月にお守りと供物を授与し、法人の方には特別な神札をお渡しします。是非、足をお運びください。

◆平成31年度会費納入のお願い

年会費(平成31年4月1日より、令和2年3月31日までの分)未納の方は、お手数でも同封の振替用紙でお納めください。社務所でも受け付けております。なお、すでにお納めの方は失礼をご容赦ください。

発行 六郷神社崇敬会

〒144-0046

大田区東六郷三、十八

六郷神社社務所内

電話 〇三・三七三一・二八八九

振替 〇〇一九〇・六・一二三五五三

監修 平野卓治

編集 吉田恒男、飛田弓子、

野村和子、石渡義仁、

長谷川靖